【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公開番号】特開2003-305892(P2003-305892A)
【公開日】平成15年10月28日(2003.10.28)
【出願番号】特願2003-74185(P2003-74185)
【国際特許分類第７版】
　Ｂ４１Ｊ　3/407
// Ｂ６５Ｄ　27/00
【ＦＩ】
　Ｂ４１Ｊ　3/00　F
　Ｂ６５Ｄ　27/00　V

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月16日(2003.12.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各薬剤に対応する薬剤識別データ毎に、薬剤に関する印刷データを記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶した印刷データを薬袋に印刷する印刷手段と、処方箋データに含まれる薬剤識別データに基づいて前記記憶手段から該当する印刷データを読み込み、前記印刷手段により読み込んだ印刷データを薬袋に印刷する制御手段とを備えた薬袋印刷装置において、
前記記憶手段は、印刷データとして、薬剤の外観を示す画像データと、副作用の症状を段階的に判断可能な複数の文書データで構成した副作用データとを含み、
前記制御手段は、前記印刷手段により、処方箋データに含まれる薬剤識別データに基づいて読み込んだ画像データ及び副作用データを薬袋に印刷することを特徴とする薬袋印刷装置。
【請求項２】
前記処方箋データは、各症状に対応する病名コードを含み、
前記記憶手段は、前記病名コードと、該病名コードに対応する投薬表示情報とを記憶し、
前記制御手段は、処方箋データに含まれる病名コードに基づいて、前記記憶手段から前記病名コードに対応する投薬表示情報を読み込んで、前記印刷手段により薬袋に印刷するようにしたことを特徴とする請求項１に記載の薬袋印刷装置。
【請求項３】
前記処方箋データは、患者コード及び薬剤コードを含み、
前記記憶手段は、印刷データとして、患者コード、及び、各患者コード毎に関連付けた判定区分コード・判定項目コードからなる患者データと、各薬剤毎に付した薬剤コード、各薬剤コード毎に関連付けた判定区分コード・判定項目コード、及び、該判定区分コード・判定項目コードに関連付けた服薬指導文からなる薬剤データとを含み
前記制御手段は、処方箋データに含まれる患者コード及び薬剤コードに基づいて、前記記憶手段から該当する患者データ及び薬剤データを読み込み、読み込んだ患者データに含まれる判定区分コード・判定項目コードに基づいて、服薬指導文を選択し、前記印刷手段により薬袋に印刷するようにしたことを特徴とする請求項１又は２に記載の薬袋印刷装置。
【請求項４】

前記記憶手段は、印刷データとして、判定区分コード・判定項目コードに対応しない服薬指導文を備え、
前記制御手段は、処方箋データに含まれる薬剤コードに、患者コードに含まれる判定区分コード・判定項目コードと一致するものがない場合、前記服薬指導文を選択し、前記印刷手段により薬袋に印刷するようにしたことを特徴とする請求項３に記載の薬袋印刷装置。
【請求項５】
前記薬袋に代えて、薬袋に収容される用紙を印刷媒体とすることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか１項に記載の薬袋印刷装置。
【請求項６】
処方箋データに含まれる薬剤識別データに基づいて印刷データを読み込み、読み込んだ印刷データを薬袋に印刷する薬袋印刷方法において、
前記印刷データは、薬剤の外観を示す画像データと、副作用の症状を段階的に判断可能な複数の文書データである副作用データとからなることを特徴とする薬袋印刷方法。
【請求項７】
処方箋データに含まれる病名コードに基づいて投薬表示情報を読み込み、読み込んだ投薬表示情報を薬袋に印刷することを特徴とする請求項６に記載の薬袋印刷方法。
【請求項８】
前記薬袋に代えて、薬袋に収容される用紙を印刷媒体とすることを特徴とする請求項６又は７に記載の薬袋印刷方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
前記課題を達成するため、本発明では、薬袋印刷装置を、
各薬剤に対応する薬剤識別データ毎に、薬剤に関する印刷データを記憶する記憶手段と、該記憶手段に記憶した印刷データを薬袋に印刷する印刷手段と、処方箋データに含まれる薬剤識別データに基づいて前記記憶手段から該当する印刷データを読み込み、前記印刷手段により読み込んだ印刷データを薬袋に印刷する制御手段とを備えた薬袋印刷装置において、
前記記憶手段は、印刷データとして、薬剤の外観を示す画像データと、副作用の症状を段階的に判断可能な複数の文書データで構成した副作用データとを含み、
前記制御手段は、前記印刷手段により、処方箋データに含まれる薬剤識別データに基づいて読み込んだ画像データ及び副作用データを薬袋に印刷するように構成したものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
また、前記処方箋データは、各症状に対応する病名コードを含み、
前記記憶手段は、前記病名コードと、該病名コードに対応する投薬表示情報とを記憶し、
前記制御手段は、処方箋データに含まれる病名コードに基づいて、前記記憶手段から前記病名コードに対応する投薬表示情報を読み込んで、前記印刷手段により薬袋に印刷するように構成したものである。